

■ごみの単独処理と広域処理の比較及び方針について

区 分	単 独 処 理	広 域 処 理
内 容	羽生市独自でごみ処理	行田市と共同でごみ処理
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 余熱利用（発電等）により補助率1/3の可能性はある ◎ ごみ収集の運搬距離が短い 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設規模大により補助率1/2の可能性はある ◎ 建設用地が確保済 ◎ 特に管理運営費が大幅に削減できる ◎ 同時更新で粗大ごみ処理施設も補助が見込める
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> × 可燃ごみ処理施設稼働時に、<u>人口5万人</u>を下回ると補助対象外となる × 現在の場所では手狭である × 粗大ごみ処理施設の建設が、人口要件により補助対象外となる可能性が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> × 事業推進に2市の合意が必要 × ごみ収集の運搬距離が増加（影響は小） (例) 羽生市役所 → 清掃センター : 約4.7km → 行田市小針 : 約6.5km <p style="text-align: center;">※ごみ収集運搬経費に対する影響は、 1割増程度と想定される</p>
羽生市負担 経費比較	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設費・管理運営費 : 約 1 6 5 億円 ● 収集運搬費 : 約 3 2 億円 <li style="text-align: right;">合計 : 約 1 9 7 億円 <p>※管理運営費と収集運搬費は20年間の試算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設費・管理運営費 : 約 1 1 8 億円 ● 収集運搬費 : 約 3 5 億円 <li style="text-align: right;">合計 : 約 1 5 3 億円 <p>※単独処理と比較して 20年間で▲44億円</p>
方 針		<p style="color: red; font-weight: bold;">★「広域処理」を選択</p> <p>※上記経費比較は、各々の概算費用を試算したものであり、確定した事業費ではありません。</p>